

小学生プログラミング大会

県の最優秀賞に

飯綱の宮原さん

全国大会出場へ

全国選抜小学生プログラミング大会
ング大会県大会（信濃毎日新聞社、全国新聞社事業協議会主催）の表彰式が6日、長野市の信毎本社であった。テーマは「みんなの未来」で、身近な人や地域の明るい未来に役立つ作品を募集。計4点の中から、人工知能（AI）を使い姿勢が良くなるアプリを開発した飯綱町牟礼小学校5年の宮原一篤さん（11）に最優秀賞が贈られた。

宮原さんの作品は「シャキッと先生」。AIがカメラに写った人の関節の動きなどを判定し、姿勢が崩れると「シヤキツとしよう」と音声が出る仕組みだ。初心者向けプ



県大会の表彰式に出席した宮原さん

ログラミングソフト「スクラッチ」を使い、AIには事前に良い姿勢を学ばせた。

勉強中、親から姿勢の悪さを指摘されることが多かった宮原さん。夏休みの自由研究で同級生にアンケートを取ると、9割が姿勢の悪さを自覚していたという。みんなの悩みを解決したいとアプリを制作した。

宮原さんは「子どもだけでなく、パソコンを使う時間が長い社会人にも使ってほしい」と笑顔を見せた。3月2日に東京都内である全国大会に出場し、作品の特徴や制作過程について発表する。